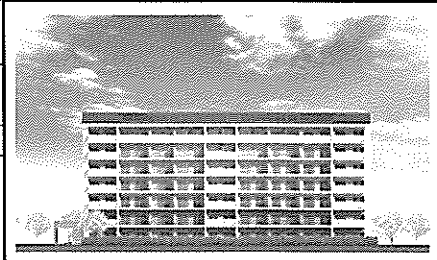


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福知山市営住宅つつじが丘団地ほ	階数	地上7F、地下0F
建設地	京都府福知山市つつじが丘125-	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第一	平均居住人員	133 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2026年3月 竣工	評価の実施日	2026年3月26日
敷地面積	5,860 m ²	作成者	(株)ニュージェック 宮本恵成
建築面積	766 m ²	確認日	2026年3月26日
延床面積	3,923 m ²	確認者	(株)ニュージェック 宮原嘉成



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 2.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 73%
③上記+②以外の 70%
④上記+ 70%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.9
Q2 サービス性能: 2.6
Q3 室外環境(敷地内): 3.2
LR1 エネルギー: 4.4
LR2 資源・マテリアル: 3.6
LR3 敷地外環境: 3.5

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.9

音環境	2.7
温熱環境	5.0
光・視環境	3.2
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

機能性	2.0
耐用性	3.0
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性	3.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

水資源	3.6
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

地球温暖化	4.2
地域環境	3.5
周辺環境	2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	良好な都市環境を形成し、隠わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。また、ZEH-M Orientedの基準を満たす建物であり、高い外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めた。	その他 特になし。
Q1 室内環境	外皮性能として、住居部分日本住宅性能表示5-1断熱など性能等級等級5を満たす計画とし省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には適切に緑化を施し、また駐車場の車路を保水性舗装とすることで、地表面温度上昇を極力抑える計画とした。
LR1 エネルギー	適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努め、またLED照明など高効率な設備を採用し省エネルギーに配慮している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化に配慮した。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	
LR2 資源・マテリアル	LGS下地又は木下地を採用し、分別を容易にすることで部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される